本日はお忙しいところ進路説明会にご出席いただき、ありがとうございます。また、日頃より、また、今年度は前代未聞の長期間にわたる休校期間中におけるご支援・ご協力に重ねて感謝申し上げます。今年の３年生は部活動の集大成ともいえる総合体育大会、コンクール・発表会などがすべて中止となりました。生徒達は、大人の誰も経験したことがないようなつらい気持ちを乗り越え、大会があるとかないかでなく、その先にある大切なものを見つけて、最後まで部活動をやり抜こうと本当によく頑張っています。これも、ひとえにご家庭において、保護者の皆様の温かいお声かけや支援があったからこそだと思っています。ありがとうございました。

新型コロナウィルス感染症については、連日報道されているとおり、依然として予断を許さない状況が続いています。本校におきましては、印西市がレベル１の状況であることを鑑み、感染症対策を十分にとりながら、少しずつ活動の幅を広げていきたいと考えております。

さて、中学生３年生にとって、中学校卒業後の進路を具体的に考え、準備する時期になってきました。

ご承知のとおり、今年度は千葉県公立高等学校の入学者選抜方法については、後で進路指導主事から説明がありますが、これまでの**「前期選抜」と「後期選抜」を１回にまとめて実施、学力検査を２日間で実施、英語（リスニングを含む）は６０分で行う**などこれまでと大きくかわります。そして、新型コロナウィルスに関わる**休校中への配慮事項として、入試範囲を一部の教科で縮小する**ことが県教育委員会から発表がありました。生徒の不安を払拭し、見通しをもって適切な進路選択ができるように保護者の皆様と協力しながら支援・指導していきたいと思います。

進路選択にあたって、重要なことは自分を知るということです。自分は、どんなことに興味関心があり、強みは何か、弱みは何か、これからどんな生き方をしたいのかをじっくりと考え、選んだ進路先で何をしたいのかを明確にしておく必要があります。現在、**中学生卒業生の進学率は９９％。そのうち８割が普通科志向です。**高校生の学ぶ意欲や目的意識も多様化していて、大学などへの上級学校を希望している者、就職を希望している者、学び直しにより教養を深めたい者、そのニーズも多様化しています。県立高校においても、**「県立学校改革推進プラン」**により、高校の再編や時代や生徒のニーズに応えようと普通科の中に福祉コースを設置したり、職業科を設置したりと様々な工夫を凝らしていますが、すべての高校で力を入れているのがキャリア教育です。自分の将来の職業や生き方を考えさせるキャリア教育です。何のために学ぶのか、目的意識がいつの時代でも大切です。

ご家庭におきましても、受検という機会をお子様の将来の生き方を考える機会ととらえて、支援・援助をお願いします。